

平成20年度第2回東京都生活習慣病検診管理指導協議会 がん部会 議 事 要 旨

- 【開催日】 平成20年10月24日(金)
- 【委員】 出席7名、欠席4名
上畑委員、岡野委員、小野委員、近藤委員、曾我委員、角田委員、徳田委員
- 【事務局】 矢内健康推進課長、近藤副参事、平塚課務担当係長、森課務担当係長、
佐久間主任、伊藤主事

議題1 がん検診実態調査の結果速報について

(1) 職域を対象とした調査

- 【委員】 大企業ほど人間ドックを使っている傾向が強いと思っていた。
- 【事務局】 現時点では、事業所の規模とのクロス集計を行っていない。集計後、何かの傾向が出るかと思う。
- 【委員】 がん検診の追跡調査というものが大事。呼応してくれない事業所、組合があるという話を聞いている。実際にはあり得ないが、個人情報保護法をたてに協力してもらえないところがあるということが論議されたが、今後それは統計が出てくるか。
- 【事務局】 精密検査の結果について把握をしているかという部分で聞いているので、集計次第、把握している、していないという部分の統計は出る。
- 【委員】 がん検診の必要のない30歳代を非常に多く対象としている。まだまだ現場の意識は福利厚生というレベルで、がん検診としては希薄だろうと思うが、都の立場としてどこまで介入できるのか。
- 【事務局】 優良事業所という形で幾つかの事業所にはヒアリング調査をする予定。報告書の中にも盛り込んで、国の指針に基づいた精度管理まで考えた検診が望ましいということ、東京都として大いにアピールをしていきたい。

(2) 都民を対象とした調査

【委員】 調査の回答は、前向きに受けた人が多く回答し、受けなかった人は回答していないという偏りもあるのではないか。

【事務局】 健康意識が高い人の回答が若干高く、多少偏りがあると思う。
肺がんについては、今までと調査方法が異なり、胸部エックス線、喀痰検査、胸部CTなど、肺がん検診の方法を具体的に挙げたので、回答が容易であった。

【委員】 年齢と健康の意識、それに対していくらであれば検診に支出できるのか、その辺の意識をぜひ参考にしたい。

【委員】 サプリメントに、少なからぬ費用を投じている実態がかなりある。今度調査するときには、サプリメント、健康食品にどの程度投資されているかという項目を入れたらよい。

【委員】 胃がん、大腸がん検診は無料で、乳がん検診が有料で2,000円ぐらい、それが受診率に反映していることの1つの原因か。

【委員】 胃がん、肺がん検診は早い頃から行っており、無料の場合が多いという経緯だが、乳がんは、マンモグラフィ検診ということで、経費がかかることから、相応の負担をしていただくという意向で、やはり時代的な背景もある。

議題2 がん検診支援サイト「受けよう！がん検診」について

【事務局】 検診についてのページで、国が推奨する検診を入れ、検診はこういう機会を受けられる。症状がある場合は医療になる旨のページを入れたい。

【事務局】 要精検になった場合、必ず医療機関で受診するよう強調する必要がある。

【委員】 肺がんの予防の一番は検診を受けることというのは、医学的エビデンスがあるのか。皆さんにお勧めするのはよいが、予防の一番は禁煙ですと言う人もいる。エビデンスのある表現に変えたほうがよい。

【委員】 本当は、全部二次予防という意味で最初に書いてあればよい。

【事務局】 表現方法を統一し、肺がんについては、表現を検討する。

【委員】 受診率については、区市町村は言い分もあると思うが、ホームページに掲載し、議論をしていただいたほうがよい。

【事務局】 今回は、非常に分かりやすい形で示していくところがポイントである。

【事務局】 がん検診について、きちんと精度管理が行われること、精度管理に基づいて検診を見直していただくことを考えサイトを構成し、今後各区市町村に話したい。

その他の議題 平成18年度がん検診の精度評価（区市町村別）について

【事務局】 区市町村別の要精検率、精検受診率、陽性反応適中度、がん発見率について、今後、ホームページに掲載することを検討している。

【委員】 ホームページで公開する場合は、数字の解釈、読み方に注釈を加えないと一般の方には理解できない。

【事務局】 精度管理の指標を直ちにホームページに掲載できない理由は、「視触診方式のみ」の中に、超音波で行っている部分の数字が入っているなど、さらにデータの検討が必要なため。

【委員】 乳がん検診の超音波については、最新のニュースはどうか。

【委員】 超音波については、まだ何も載せられないところだが、少なくとも、視触診単独はやめてもらいたいということをどこかで言えればよいと思う。

【委員】 乳がんの自己触診については、実施を推奨しないような論文がかつて出されたが、いかがか。

【委員】 「自己触診」に関しては、勧めてよいと思う。